



B型事業所 アクセプト
令和4年9月
地域協働活動報告

地域に根ざした事業所づくり

わくわくネットワークを通じた 地域の企業体との連携活動

- 宮崎市の就労系事業所の任意団体である、一般社団法人わくわくネットワーク。わくわくネットワークに地域の企業から依頼された受注作業はあるものの、納期がある事、作業の難しさ、単価が合わない等の理由から、各事業所の受け入れ状況は良いとは言えない。そのため、仕事はあっても引受先がないと事務局も悩んでいる。当事業所は、受け手がいない作業も積極的に取り入れ、地域企業の困りごとの解決を図っている。各企業と直接の連携を取り、指定された製品を期日までに仕上げる事を目標としており、利用者と共に納期を意識した「仕事」として取り組んでいる。また、作業単価については作業の細分化、利用者の配置、役割分担等の工夫を行い、できる限り効率化する意識を持ちながら取り組んでいる。受注作業における実績はわくわくネットワークの仕事のあっせん実績に直結している事もある。地域を支える存在としての、わくわくネットワークのポテンシャルをさらに引き出せるよう取り組んでいく。

地域企業連携

有限会社矢野青果

千切り大根袋詰め作業

地場産業の一つ、千切り大根の製造、販売を行う地域企業。

わくわくネットワーク受注。

製品の種類が多く、各製品に合わせた対応を行う必要がある。現在、複数の事業所で取り組みを行っているも、生産量に課題がある。また、製品に応じた対応が難しいとの理由で受注を敬遠されている面もある。当事業所としては、生産の安定化、生産量の確保、作業効率化を重点課題として取り組み、地域企業の課題解決の一翼を担っている。利用者にも、先述した「仕事」として取り組んでもらう事を意識してもらい、地域企業から安心して仕事を任せてもらえる存在となりえる事を知ってもらう。それが、就労に対する自信、信頼の確保、やりがいとして捉えられるように支援していく。就労希望のある、能力の高い利用者に関しては直接の雇用に向けてアプローチしていく。また、製品を卸してもらい、それを事業所で販売する活動も行う。相互連携を深め、お互いにメリットがある関係性を構築し、維持継続していく。

地域企業連携

株式会社Have fan Factory

サプリメント製品箱詰め等

宮崎市に製造工場を持つ、サプリメント製品製造・販売の企業。

わくわくネットワーク受注。

サプリメント製品の箱詰め作業、シール貼り作業を受注している。1回の受注量が数千個単位であり、さらに納期が短い点が敬遠されるポイントとなっている。社長も、障がい福祉への関心が高く、なるべく障がい福祉サービス事業所へ発注依頼をしたい思いを持っている。しかし、先述の通り、受注する内容の難易度が高く、応えられる事業所が少ない。当事業所は作業効率化、納期の厳守を最重点課題としており、地域企業の困りごとへ対応できる事業所として成果を上げる。利用者も、納期があることに対して責任感を持って「仕事」として取り組むことができている。地域企業に頼られる事業所であることが、利用者の自信、就労への意欲に強く作用していると感じている。

近隣住民の方たちへ

事業所前イベント販売会

近隣住民の方たちへ向けた、周知活動として事業所前での定期的な販売会の実施。

事業所の前で骨董品、アパレル製品、ハンドメイド製品、飲食物の販売を行う。

販売するハンドメイド製品の作成、骨董品等の洗浄、修繕を行う。イベント当日の売り場づくり。来場者に対する対応。イベント販売会として、物を売る活動を通じ、売れる喜び、客とのかかわりなどにやりがいを感じてもらうことで、就労することへの意欲を高める。恒久自治会・民生員・地域住民等とのつながりを生み出す。そして、地域の方々に事業所の存在を周知し、障がい福祉に関する地域の困りごとなどを相談できる存在となれるように取り組む。

また、生産活動につながるような地域の困りごとを掘り起こし、手伝えることで報酬が得られるように関係性を構築していく。

わくわくネットワーク・Super歩一歩・セルフ合同 福祉バザールわくわく市（宮交シティアポロの泉）

3団体合同で執り行われる、福祉バザールわくわく市。地域の方への、障がい福祉サービスの周知、工賃向上を目的に行われる。

県内事業所への声掛けのもと、参加者を募る。現在、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、参加事業所の確保が難しい状態にある。

また、客足としても、従来の物ではないため、売り上げに期待することは難しい。しかし、参加する事をあきらめてしまえば、我々の存在をアピールする場を失ってしまう可能性がある。困難も多いが、できる限り参加する事を心がけていきたい。

地域企業連携（5月より新規受注）

株式会社シンセラティ

EC販売商品の梱包等

宮崎市に拠点を置くEC販売の地域企業。

わくわくネットワーク受注。

ECにおける業務、梱包作業を受注して取り組んでいる。当事業所もECに取り組んでいるため、そのノウハウ蓄積にも協力してもらっている。また、作業量の多さと物量から、やはり引き受け手の少ない作業である。作業を探し、提供するわくわくネットワークの存在意義、地域企業の後押しを念頭に、難しい作業ではあるが、請け負っている。

また、先述の通り、EC販売におけるアドバイス等が受けられる大きなメリットがある。双方が良いと思える関係性を構築、維持していけるよう取り組む。

これからの発展性も見込めるため、ともに成長できるように相互理解を深めていきたい。

令和4年9月度実績

○ 矢野青果千切り大根袋詰め作業

総売上：156,790円

コロナ感染もひと段落して安定した稼働をする事が出来た。

今月は70gの注文が多かったため、数をこなすことが難しい状況が継続した。

それでも、それなりの売り上げとなったのは良かった点である。

また、地域企業の要望に応えうる事業所として、利用者を含めさらなる自信へとつながってきたように感じられる。

引き続き、現在の稼働状況を継続させていく事が目標。

令和4年9月度実績のつづき

○ 事業所前イベント販売会

総売上：なし

今月は17日に実施予定としていたが、台風が直撃してしまい見送りとなった。

古物品は、在庫の保管場所の問題もあり、縮小させていく事を検討したい。

地域の方からも、時折イベントについての問い合わせをいただくようになってきている。

来月こそ、実施して地域とのつながりを維持継続させていきたい。

令和4年9月度実績のつづき

- 販売会等

総売上：なし

コロナウイルス感染拡大の影響は継続している。そのため、今月も販売会等の実施はなかった。早くこの現状が改善されることを願いたい。

来月も予定はないため、事業所前での販売会を中心に取り組んでいきたい。

令和4年9月度実績のつづき

- シンセラティ梱包作業

総売上：22,440円

予定数よりは少し少ない結果となった。

作業にも慣れてきており、しっかりと取り組む事が出来るようになってきている。

シンセラティとの連携もより密なものとなってきている。

顧客への個別発送も、仕事として増やしてもらえることになった。

こちらの取り組みをしっかりと評価してもらえているのだと思われる。

引き続き、地域企業を支え、我々も支えてもらうこの関係性を維持、発展させていきたい。

令和4年9月度実績のつづき

◦ Have fun Factory サプリメント製品の梱包作業等

総売上：207,834円

企業からの要請もあり、1万個の大口を荷物の受け取りから納品まで、全て当事業所主導で行う事が出来た。

納期もあり、急ぐ展開とはなったが、無事すべてを完了させる事が出来た。

企業からの期待を感じる内容であった。引き続き、与えられた役割をこなし、次の大口受注を達成できるように取り組みたい。

機械の導入の打診もあった。必要に応じ、検討する事とする。

各作業の様子

- 矢野青果千切り大根袋詰め作業



稼働そのものは正常化したものの、注文が70gで集中してしまったため、売上が思いのほか、伸びなかった。しかし、企業の期待には応えられたと考えると、良かったと言える。引き続き、安定した稼働を目指していきたい。

各作業の様子

- Have fun Factory
サプリメント箱詰め作業等



今月は、大口のロットを最初から最後まで全て当事業所で行う事が出来た。
企業にも喜ばれたように思う。機械導入の打診もあった。
引き続き、良い関係性を維持していけるように努めたい。

各作業の様子

- シンセラティ梱包作業



予定よりは少ない数となったが、安定した稼働ではあった。
また、顧客への個別発送も一部行う事になった。
また一つ、できる事が増えたことは喜ばしい。